



名古屋市 A様邸



「住み手の世界がある」…そんな実感がもてる空間を目指しました

スフェーレ マイスター キシダ
Sphäre-Meister Kishida (旧名 岸田 外柵業務店)
代表 岸田李好氏 愛知県日進市

この設計のポイントは、間口のほぼ半分の幅を使った、高さ1.4m、もっとも広い所で1.5m巾の高く長く、存在感のある曲線階段です。思い切ってスケールを確保し、両脇にたっぷりの草花を持ってきた構成が、行き交う人の視線を集めているようです。

この構成の特徴は階段の踏み面および花壇をすべて違う形、大きさにしていることです。ふんだんに使っているアールもパターン化させず、一つ一つ違うものを幾重にも組み合わせています。そのため全体のバランスが破綻しないよう綿密に計算しました。さらに計画には、さりげなく「訪れる人のための当て(目標)」を組み入れています。これは階段や花壇のカーブによるもので、計算されたアールデザインが自然に歩行の流れを作り出すというものです。

また、この住宅を強烈に印象付けている草花は、量が多いだけに美しさと醜さがはっきり出るので、より美しく見せる方法として、根の張り方と茎の伸び方など、品種にあった植え方をご指導しています。



この施主様はお客様を迎えることが好きで、いつも室内を自分らしく飾っていらっしゃいます。インテリアが室内装飾であるなら「エクステリアはまさに屋外装飾」…施主様の趣向を伺い、袖門のオブジェとして、星座の彫刻が施されたタイルやエンジェルの置物を配しました。住み手のエピソードが盛り込まれた、独自の空間に仕上がっています。